

研修医評価表（整形外科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
運動器疾患の診断が適切に行える。										
骨・関節・筋肉の診察ができ、記載できる。										
外傷を始めとする単純X線の読影ができる。										
保存療法と手術療法の適応が理解できる。										
術式選択を理解し、術前計画が行える。										
リハビリテーションの計画が行える。										
手術の治療効果とリハビリテーションの効果が理解できる。										
外傷（骨折・捻挫・脱臼等）や関節痛、脊椎障害の初期対応ができる。										
関節リウマチの診断・評価が行える。										
皮膚縫合や創部消毒・ガーゼ交換が適切に行える。										
退院時期の判断ができる。										